

横尾

静けさが心にしみる **yokoo**



千古の滝 15



訪れる人に
やさしく語る四季の里。
歴史と自然のふれあい…。



横尾 神川と洗馬川が合流するその間の平地と山々を背にした地で、縄文前期から人々が住みこの辺りの中心でした。最近の発掘調査で多数の住居跡と遺物が出ています。鎌倉時代には神川の河川敷に市が開かれ四日市の名が現存しています。横尾は江戸への近道として北国裏街道といわれた松代道(江戸道・善光寺道)と上州街道が交差する交通の要所で宿場も栄えました。戦国の世には、横尾氏が城を築いてここを治めました。上田原合戦で城主横尾信光は討死。その後は真田氏の支城となりました。

横尾では、縄文の太古からの遺跡・遺物の数々と横尾氏・真田氏に関わる史跡や社寺、そして景勝千古の滝・自然の恵み千古温泉など多くの史跡や名所を見ることができます。

横尾氏 大塔合戦(1400年)の戦記「大塔物語」に初めて横尾氏の名が見えます。村上氏の洗馬城攻め(1467年)の後に横尾氏はその配下になったといわれています。上田原合戦(1548年)で村上軍に従って大勝しましたが、横尾信光は討死し、長男紋十郎は幼く城を保ち得なかったのかやがて上州に逃れました。

真田氏



六文銭は三途の川の渡し賃として死者の棺に入れるもので、戦に臨んでは生きて帰らぬ決死の覚悟をあらわしています。



真田幸隆

智謀をもって敵を攻略すると共に、千軍万場の猛将として武田信玄の厚遇を得、真田氏発展の基を築いた。真田氏の当主。長谷寺に葬られる(62才)。



真田信綱

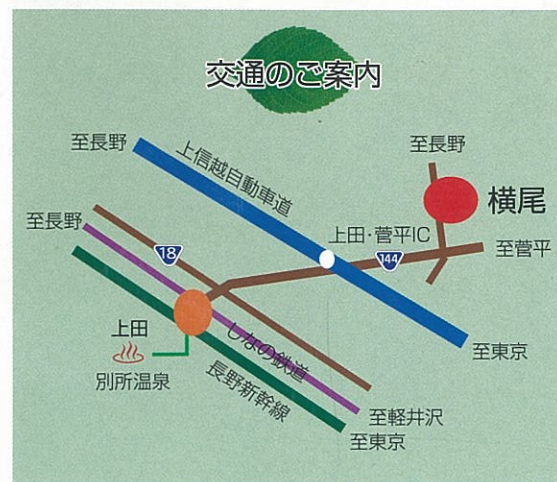
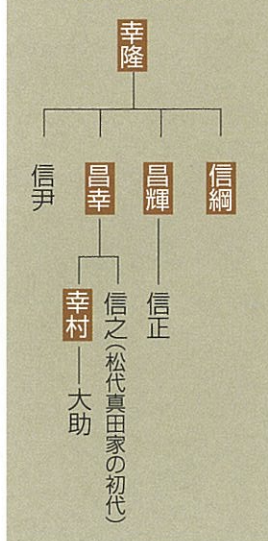
生涯を戦いに明け暮れた豪勇の武将。幸隆の没した天正2年(1574)真田氏の家督を継ぐ。翌年の長篠の合戦で討死。信綱寺に葬られる(39才)。



真田昌輝

兄信綱と共に武田軍の将の一人として、また信州の先方衆として武勲をたて、長篠の合戦で兄と共に奮戦して壮烈な討死。信綱寺に葬られる(33才)。

主な系図



- 平成21年度上田市わがまち魅力アップ応援事業
- 新生上田市発足3周年記念事業
- 編集 横尾を語る会
- 作成 上田市真田町横尾区
- 製作 アート・D



7 信綱寺

室町期、尾引城主横尾氏の菩提寺として梅ノ木に大柏寺が開創されました。上田原の合戦で横尾信光が討死。以後廃寺となり天正3年(1575)打越に移して打越寺となりました。文禄3年(1594)真田昌幸が長篠の合戦で戦死した兄信綱の牌所として信綱寺と改称しました。享保2年(1717)現在地に移りました。



8 信綱夫妻・昌輝の墓所

天正3年(1575)信綱は長篠の合戦で弟昌輝と共に戦死し、家臣白川兄弟が、主君の首級、鎧胴、愛刀を持ち帰り打越寺に申しました。寺の移築に際し、信綱寺の裏山に開基としての墓所を設け信綱夫妻、昌輝の墓石が建立されました。

2 総門(黒門)

全体に黒く見えることから黒門と呼ばれています。この門の扁額は、元総持寺貫主の畔上棟仙師が書かれたものです。この参道の桜並木は花見の名所として地域に親しまれています。



5 古城緑地広場

ここには「古城庵」があり住民の憩いの広場です。歴史の丘には真田氏と関係の深かった戦国武将の石刻花押があります。

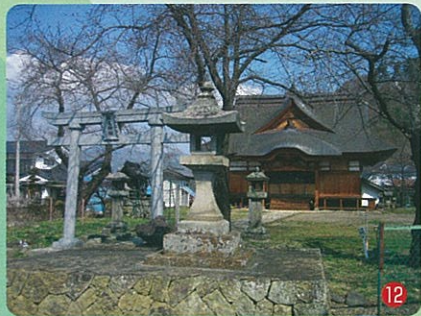


横尾

静けさが心にしみる yokoo

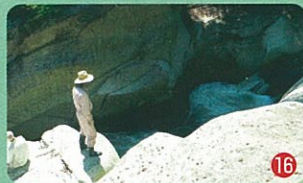
悠久の時の流れを感じてみませんか

古代より交通の要所として時の支配者により開かれた横尾。この地には数多くの貴重な建物、石神、石仏が自然と調和し祀られています。自然にしたしみながら、歴史をひもといてみませんか。



12 横尾神社

建御名方神・八坂刀売命を祀った神社で宝永3年(1706)以前の建立と考えられ、大明神、諏訪大明神、横尾神社と改名し現在に至っています。本殿、及び拝殿正面の彫り物は見事なものです。境内には他に8社が祀られています。



16 千古の滝ポットホール群と丸石

大小7ヶ所ほどのポットホールがあります。大水の後にはポットホールからはじき出された大小のきれいな丸石を拾うことができます。滝の上部には今も成長を続ける大型ポットホールや太古からの滝すじの移り変わりを滝の岩肌に見ることができます。
*ポットホールとは、岩のくぼみに硬い石が入り込み水流で回転し岩を削ってできた穴です。



15 千古の滝

洗馬川の水がすりへってできた多段の滝で、その全容の神秘性から昔は神の信仰や雨乞いの祈願が行われました。また竜宮や童童の伝説が伝えられています。真田十勇士の霧隠才蔵が忍法修行した滝とも言われています。

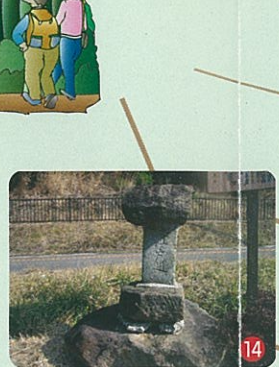


17 千古温泉

洗馬川のほとりの泉質の良い硫黄泉です。身体が温まり湯ざめがしにくいと言われています。

13 尾引城跡

室町時代に横尾の地を支配していた豪族の横尾氏が築城しました。天文17年(1548)横尾信光は上田原合戦で討死し、その後この地を支配した真田氏の支城となりました。
*正面の急斜面に折れ道と腰郭を15段程組み合わせ、背後は二重の堀り切りとなっており、中世の山城の特徴をそのまま残しています。頂上に秋葉神社が祀られています。



14 江戸道道しるべ

至松代・長野
尾引城跡

江戸道道しるべ
松代道道しるべ

旧松代道
県道長野真田線

至松代・長野
尾引城跡

江戸道道しるべ
松代道道しるべ

旧松代道
県道長野真田線

至松代・長野
尾引城跡

江戸道道しるべ
松代道道しるべ

旧松代道
県道長野真田線

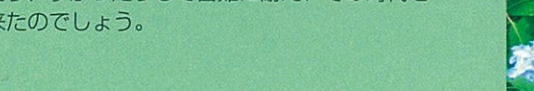
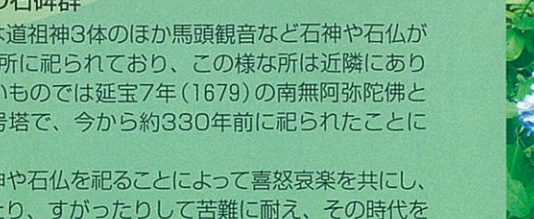
至松代・長野
尾引城跡

江戸道道しるべ
松代道道しるべ

旧松代道
県道長野真田線

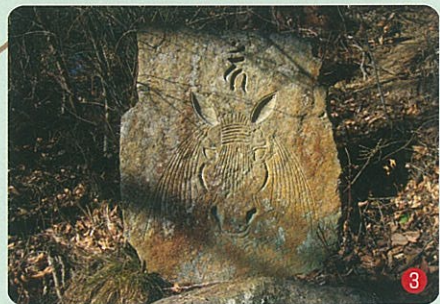
至松代・長野
尾引城跡

江戸道道しるべ
松代道道しるべ



1 薬師堂

人のあらゆる病気を治すといわれる薬師如来を祀っています。本尊は傍陽の矢坪から流れつた石仏で、正保2年(1645)に建立されました。



3 馬頭観音

馬の健康や安全を祈願し、一般的には「馬頭観音」「馬頭大士」と文字を刻みますが、これは馬の顔を線彫りしてあり、非常に美しく珍しい石碑です。文政5年(1822)に建立されました。



6 墓前の桜

戦死した信綱の首級、鎧胸は桜の樹下に手厚く葬られました。「墓前の桜」と称し、大きな古木は今でも美しい花を咲かせています。

*血染めの陣羽織、鎧胸は信綱寺宝物殿に、愛刀は「青江の太刀」と言われ国の重要文化財として松代真田博物館に所蔵。



19 道祖神の石碑群

この広場には道祖神3体のほか馬頭観音など石神や石仏が27体も一カ所に祀られており、この様な所は近隣にありません。古いものでは延宝7年(1679)の南無阿弥陀佛と書かれた名号塔で、今から約330年前に祀られたこととなります。昔の人は石神や石仏を祀ることによって喜怒哀楽を共にし、そこで祈ったり、すがたたりして苦難に耐え、その時代を乗り越えて来たのでしょう。